

2021年12月17日

各位

会社名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐々木 康行
(コード：2573、東証2部)
問合せ先 取締役総務人事部担当 川村 雅彦
(TEL. 011-888-2001)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定されている株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、2021年12月17日開催の取締役会決議にもとづき、スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。併せて、当社は移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成し、東証へ提出いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、「流通株式比率」については基準を充たしておりません。今後、当社は2024年12月末を目標期間と定め、上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況	6,626	18,466	76	24.2
上場維持基準	400	2,000	10	25.0
計画書に記載の項目				○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の方針、課題及び取組内容

① 基本方針

当社は、より多くの投資家の投資対象になり得ることを目指し、株価の安定を図りつつ、流通株式比率と日々の出来高の向上を図ってまいります。

② 課題

当社は過去、上場維持を行うために関係会社、取引先を中心とした国内法人に株式の引き受けを実施していたため、安定株主比率が高く、株式市場で循環される株式が少ない。

③ 取組内容

当社は一次判定（6月30日時点）の結果を受けて、流通株式比率の是正のため本年11月5日に自己株式の取得、同11月12日に自己株式の消却を実施いたしましたが、役員、特別利害関係者を勧奨した流通株式比率は22.8%に留まり、上場維持基準を充たす結果には至りませんでした。

今後については、関係会社、取引先に保有株式の市場売却を打診してまいります。売却については株価に影響の少ない単位での売却をお願いすることと、当社の出来高を勧奨すると上場維持基準が達成されるまで3年（2024年12月まで）は必要と見込んでいます。

なお、上記の市場売却の進捗が遅滞するような場合は、株主総会決議による「特定の株主からの自己株式の取得」を検討いたします。

以上